



0301

鑛業試掘及特許ニ関スル卑見

4436



114
A 4060



鑛業試堀及特許ニ関スル卑見

茲ニ鑛山試堀又ハ採堀ノ特許ヲ得タル甲者アリ甲ハ
鑛業條例第三十三條第三十四條ニ觸ル、廉アリテ当
該官署ヨリ其特許ノ取消ヲ命セラル其取消命令書ヲ
當局官廳ヨリ郵便函ニ投シタル後其郵便書甲ノ手元ニ
達セサル前乙ナル者試堀出願ヲ為シタリ而シテ其郵
書甲ノ手元ニ達スルヤ否ヤ丙者試堀出願ヲ為シタリ
此場合ニ於テ乙丙何レニ先願權アリヤ

此問題ヲ決スルニハ試堀若クハ特許取消ノ効力ハ其取消
命令書記載ノ日附ヨリ生スルカ(仮リニ日附説ト名ク)又ハ
其命令書カ甲ノ手元ニ達シ甲ニ於テ之ヲ受領シタル時ヨ
リ生スルカ(仮リニ受領説ト名ク)此二点ヲ研究スルヲ必要

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈

トス而シテ農商務省ハ現ニ試堀特許取消ニ関シテハ受領
説ヲ主持セラルト虽氏余ハ日所説ノ正当ナルコトヲ確信
ス

抑モ特許及取消共均シク是レ行政命令権ノ発動ニ属スル
モノニシテ契約法ノ原則ニ準據スヘキモノニアラザルカ
故ニ其余令處分ハ願人ノ知ルト否トニ拘ラズ効力ヲ有ス
ヘキモノナリ即チ其余令授與ニ関スル手續ト方式トノ履
キ之ヲ郵便函ニ投シタル時ハ命令ノ効力完成シタル時ナ
リトセザルヘオラス

蓋シ鑛業ノ特許及取消處分ノ性質ヲ案スルニ對世的處分
ニ對人的處分三ノ二箇アルヲ見ル(一)ノ場合ハ政府才行政
権ノ發動ニ因リ社會ニ對シ爲ス所ノ處分ナレハ鑛業人が

其處分ヲ知ルト否トニ拘ラズ其處分ヲ爲シタル日ヨリ効
力ヲ發生スルコト猶法律カ 天皇ノ裁可ヲ經テ公布セラ
ルレハ則チ法律タル法才ヲ具ヘ人民ノ之ヲ知ルト否トニ
関セザルカ如シ(二)ノ場合ハ(一)ノ處分アリタルコトヲ本人
ニ告知スル方法ニ属スルカ故ニ特ニ本人ノ利益ニ関スル
事柄ニ限り本人ニ於テ其處分命令ヲ受領シタルトキヨリ
服従ノ効果ヲ生スベシ是レ猶法律トシテ 天皇ノ裁可ヲ
得テ公布セラレ、モ僻輒ノ人民法定ノ周知期間内ハ服従
ノ義務ヲ有セザルカ如シ然ルニ此二個ノ區別ヲ混同シ法
律ノ裁可アルモ周知期間内ナルカ故ニ之レ法律ニアラス
ト云フモノアラハ世人其妄ヲ笑ハシ行政権ノ處分ヲ爲シ
タレ氏鑛業人未チ其處分ヲ知ラザルカ故ニ是レ行政處分

ニアラスト云ハハ果シテ正論ト云フベキカ此理論ニ依シ
ハ行政處分ハ治ント民法上停止條件附ノ行為ニ類似スル
ニ至ラニ奇モ亦甚シ之ヲ要スルニ社會ニ對スル行政權發
動ノ効果ヲ論スルニ當リ私人カ郵便信書ヲ受領シタル時
ノ基本トスルカ如キ理論ハ行政法ノ本義ニ背戾シタル誤
說タルヲ信セサルヲ得ス

翻テ鑛山試堀ノ認可又ハ採堀ノ特許ノ効果如何ヲ觀察ス
ルニ書面日附ノ日ヨリ發生スルモノトシテ取扱ハレタリ
例ハ鑛業條例第九條ニ「試堀ハ認可ノ日ヨリ一箇年ヲ限
トシ今第九十九條ニ「鑛業人採堀ノ特許ヲ得タル日ヨリ一
箇年以内ニ鑛業ニ着手セサルトキハ農商務大臣ハ其特許
ヲ取消スコトヲ得トナル一箇年ノ期間ハ試堀人ハ特許ノ

（電話本局五八四 京橋區元豐町一丁目「帝國大藏社印行」）

証カ願人ノ手元ニ送達セラレタル日ヨリ起算セスレテ其
認可及特許証記載ノ日ヨリ起算ス又今條例第七十五條末
項ニ「鑛區稅ハ一箇年分ヲ其前年十二月十五日限ニ又初年
ニ係ルモノハ月割ヲ以テ採堀生願特許ノ日ヨリ六十日以
内ニ之ヲ納ムヘシトナル場合ニ於テ其初年ニ於ケル月割
ヲ起算スルニハ特許証ノ日附ヨリ起算ス其他條テ試堀採
堀ノ効力ハ書面ノ日附ヨリ發生スルモノトシテ取扱ハル
是レ誠ニ正當ノ解釈ナリ然ルニ「独リ試堀又ハ特許取消ノ
効力ニ至リテハ其取消ノ命令書カ願人ノ手許ニ送達セラ
レタル日ヨリ發生スルコトニ「解釈セラル、ハ前後矛盾ニ
アラサルカ

農商務省ニ於テハ明治廿六年行政裁判所第九十号及第九

十一号ノ判決アルマテハ特許取消共ニ日附説ヲ主持セラレタレトモ今裁判アリテヨリ以後ハ取消ニ関シテハ其持説ヲ変更セラレル未受願説ニ依リ取扱ハル、モノ、如シ然レトモ是レ今裁判ノ精神ヲ誤リタルモノナルナラシカ蓋シ今裁判ハ

二十六年第九十号第九十一号合併

静岡縣棒原郡相良町

鑛業人

原告 布施 新助

農商務大臣伯爵

被告 後藤 象次郎

判決ノ理由

被告ハ鑛業條例第三十四條ニ依リ採掘特許取消ノ訴願期限ハ特許ノ日附ヨリ起算スヘキモノニシテ特許証交付ノ日ヨリ起算スヘキニ非スト云フト虽ハ鑛業條例第三十四條採掘特許訴願ニ対スル効力ハ其特許証ヲ交付スルニ依リ始メテ生スルモノニシテ未タ之レヲ交付セザル前ニ生スルモノニテラサレハ其特許ニ利害ノ關係ヲ有スルモノニ対スル訴願期限亦タ特許証交付ノ日ヨリ起算セサルヘオラス故ニ其件訴争ノ訴願期限ハ未タ経過シタルモノト云フヲ得ヌ右ノ理由ニ依リ判決スルコト尤ノ如シ被告ハ明治廿六年八月四日附ヲ以テ原告ヘ与ヘタル訴願却下ノ裁決ヲ取消シ更ニ之ニ訴願ニ対スル本案ノ

裁決ヲ爲スベシ

訴訟費用ハ被告ノ負担トス

トアリ即チ採掘特許許願ニ関スル効力ハ其特許証ヲ交付スルニ依リ始メテ生ス云々トアリ是レ出訴期限ヲ起算スルニ付与ヘタル説明ニシテ即チ制限的説明ナリ然ルニ之レヲ他ノ場合ニ類推シ終テ取消ノ効力ハ送達ヲ受ケタル日ヨリ生スト云フハ正當ノ解釈ニアラサルヘシ願フニ出訴期限ノ如キハ當事者ニ相當準備ノ猶豫ヲ与フルノ精神ヲ以テ制定シタル法則ナレハ前記對人的性質ニ屬スルモノナリ故ニ當事者カ其取消ヲ知りタルヨリ起算セシムヘキハ當然ナリ若シ然ラサルトキハ遠隔ノ地方ニ在リテ天災其他ノ事故ニ依リ送達ノ遲滞ニタルトキニアリテハ法

律力与ヘタル全部ノ期間ヲ不知ノ間ニ經過スルノ不幸ナシトセス是レ行政裁判所カ許願又ハ出訴ニ関シテハ特ニ送達期間ノ猶豫ヲ与フルノ解釈ヲ爲シタル所以ナルヘシ斯ノノ如ク特別ノ理由ヨリ生スル受領説ヲ他ノ異例ノ場合ニモ適用セラルカ爲メニ一方ニハ特許命令ノ根本的理論ヲ破壊シ行政権ノ威嚴ヲ損シ一方ニハ取消サレタル不正願人ヲシテ親戚朋友ノ名ヲ藉リテ再願セシムルノ機會ヲ与ヘ取消知命ヲシテ實際ニ於テ尙未ノ効力ナカラシムルノ弊害ヲ醸成ス然ルニ農商務省カ行政裁判所ノ一判決例ニ拘束セラレテ今日モ尙ホ受領説ヲ主持セラル、理由如何余ハ之ヲ解スルニ苦シム

加之テス取消ノ場合ニ於テ受領説ヲ貫徹セントスレハ安

際ニ於テ差支ヲ生ズルコトナシトセズ例ハ、鑛業人ノ所
在不明ニシテ郵便送達ヲ遂グル能ハサルトキハ如何ニ如
分スヘキカ是レ實地ニ起ルヘキ問題ナリトス
民事訴訟法刑事訴訟法ニ於テハ特ニ郵便送達及公示送達
ニ関スル場合ヲ規定シタルカ故ニ此種ノ難問ヲ生ズルコ
トナシト雖比鑛業條例ニハ此等ノ場合ニ関スル規定ナケ
レハ本人ノ行衛判明スルコトヲ如分ノ効果ヲ停止スベキカ
斯ノテハ實際行政事務ノ渋滞ヲ来スノミナラズ行政推察
動ノ妨害トナルヘシ若シ又本人ノ所在不明ノ如キ場合ハ
稀有ノ事ナリトスルモ他人ノ家ニ令居セル鑛業人若シ不
在ナリシ中送達シタル郵便書ハ果シテ本人ニ送達シタルト
同一ノ効果アルヘキカ特別法ノ規定ナキ限りハ本人ニ手

渡シタル場合ニアラサレハ本人ニ於テ其如分ヲ知了セリ
トノ推測ヲ下ス能ハサルヘシ
由是觀之取消ノ場合ニ於テモ余令書日附ノ時ヨリ其効果
ヲ生ズルモノト解釈スルノ正者ナリヲ信ス受領説ハ農商
務省カ從來取リ来ラレタル解釈ナレバ不当ノ解釈ハ必ズ
シモ前列ノ墨守スルノ要ヲ見ス速ニ改正セラレシコト希
望ニ堪ヘズ

丸山名政

（電話本冊五八四）京橋區元町三丁目一番地大成社印行

